

事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	あさひがわ 旭川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	まにわ 真庭市ほか5市町村
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は県中央部に位置し、北部は中国山地を形成する1,000m級前後の山が連なり、中部は標高300m～600mで台地状に広がる吉備高原地域の一角を形成し、南部は100～300mの小起伏の低山から岡山平野、瀬戸内沿岸に続いている。</p> <p>地区内の民有林森林面積は、126千haであり、県下森林面積の28%を占めている。人工林が51千ha、天然林が70千haであり、人工林率は40%と県平均の40%とほぼ同率となっているが、Ⅲ～Ⅻ齢級の林分が76%を占めており、間伐の適正な実施が課題となっている。特に本地区の北部は、本県の主要な林業地を形成し、優良な「美作材」の産地として発展してきたため、より一層の木材生産機能の発揮が求められる地域である。一方、南部は人口集中地であることから、水源涵養、土砂流出防止等の公益的機能の発揮が求められる地域である。</p> <p>これらのことから、本事業では、真庭市ほか5市町村で策定している市町村森林整備計画と整合性を図り、森林の有する多面的機能を総合的にかつ高度に発揮させるため、路網の整備とともに再生林と間伐等の適切な森林施業を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,465ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,960,755千円（税抜き 2,741,440千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C=3.78$ （総便益（B）22,290,142千円、総費用（C）= 5,891,050千円）</p>
評価結果	<p>必要性：安定的な木材生産とともに、間伐対象林の割合が多く適切な間伐等が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：優良な材の安定供給だけでなく、健全な森林づくりによって、水源涵養、土砂流出防止等の森林のもつ公益的機能の高度な発揮を図るための事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

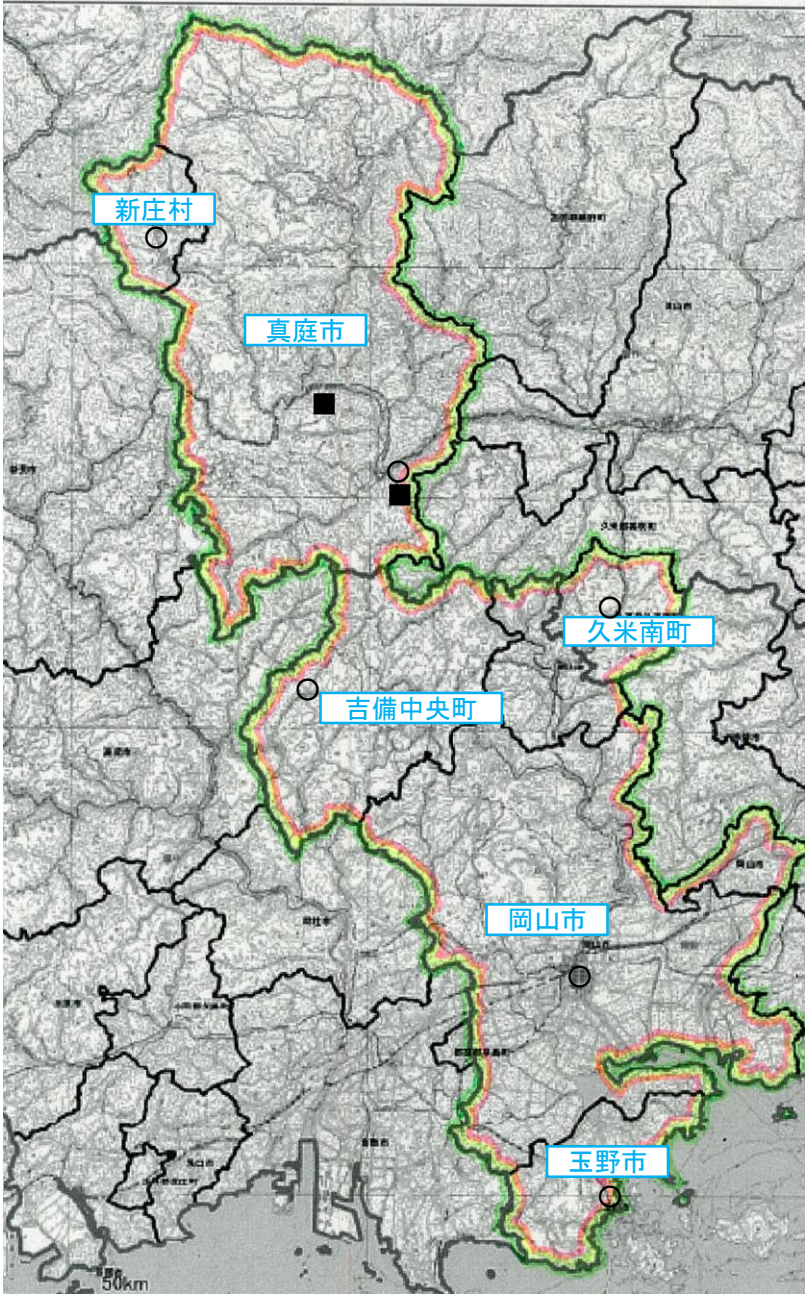
都道府県名: 岡山県

地域(地区)名: 旭川^{あさひがわ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,023,394	
	流域貯水便益	1,483,074	
	水質浄化便益	3,599,758	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,007,696	
環境保全便益	炭素固定便益	3,217,233	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,958,987	
総 便 益 (B)		22,290,142	
総 費 用 (C)		5,891,050	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,290,142}{5,891,050} = 3.78$		

森林環境保全整備事業 旭川地区(岡山県)



凡	例
計 画 区 界	—
事 業 区 域	—
森 林 整 備	—
市 役 所・町 村 役 場	○
原 木 市 場	■